

「医薬品の正しい使い方」に関する調査アンケート結果報告

日本学術振興会科学研究費補助金 事業 (財)日本学校保健会協力(後援)

主任研究者：岐阜薬科大学実践薬学大講座病院薬学研究室 寺町ひとみ (学長 勝野真吾)

平成 20 年 3 月改訂の新学習指導要領では、医薬品に関する内容が中学校保健体育科保健分野に盛り込まれました。このような状況の中で、平成 24 年度「医薬品に関する教育」の導入に向け、現在の日本の医薬品に関する知識、態度、行動を明らかにするため、全国の児童生徒の「医薬品の正しい使い方」に関する知識・意識調査および指導実施状況調査を行いました。全国の小学校・中学校・高等学校 51 校からご協力いただきましたこととお礼申し上げます。以下にアンケート調査結果についてご報告いたします。

1. 対象児童・生徒・指導者人数および回収率

(人)		申込数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
児童・生徒	小学校	1,354	998	73.7%	991	99.3%
	中学校	2,391	1,957	81.8%	1,830	93.5%
	高等学校	3,676	3,111	84.6%	2,791	89.7%
	合計	7,421	6,066	81.7%	5,612	92.5%
指導者	小学校		68		65	95.6%
	中学校		55		52	94.5%
	高等学校		37		29	78.4%
	合計		160		146	91.3%

2. 調査実施時期

平成 22 年 11 月～平成 23 年 1 月

3. 児童・生徒における学校種別集計結果

(1)体調不良時の対処(複数回答可)

(%)	早めに寝る	家で薬を飲む	家族に相談	病院に行く	学校の先生に相談	その他
全体	69.4	60.8	51.1	39.8	7.0	6.1
小学校	64.5	60.7	66.3	49.0	13.7	8.1
男	65.2	59.2	57.7	45.9	10.3	9.0
女	63.9	62.1	74.0	51.8	16.8	7.3
中学校	66.3	60.3	56.7	46.3	8.4	7.1
男	68.7	60.8	48.7	49.5	6.7	7.3
女	64.4	60.0	63.2	44.4	9.8	7.0
高校	73.1	61.1	42.1	32.2	3.6	4.7
男	75.7	56.5	31.4	32.0	2.5	5.6
女	71.1	64.7	50.7	32.4	4.5	4.1

(2)薬の使用目的(複数回答可)

(%)	かぜ	発熱	頭痛	腹痛	酔い止め	アレルギー	下痢	その他
全体	69.2	66.0	41.5	38.0	28.6	28.1	17.6	10.2
小学校	71.6	72.3	39.9	32.9	34.6	29.4	16.8	11.6
男	67.9	68.8	38.7	29.3	28.4	25.9	21.4	8.5
女	75.0	75.3	40.9	36.1	40.2	32.5	12.6	12.4
中学校	72.0	67.1	39.2	36.4	30.4	28.5	17.2	10.2
男	71.6	67.2	38.6	32.0	25.8	28.6	21.1	8.6
女	72.4	67.0	39.6	40.0	34.3	28.4	14.0	11.5
高校	66.6	63.1	43.5	40.9	25.2	27.4	18.1	9.7
男	64.5	59.2	41.7	31.3	20.6	25.4	21.2	7.9
女	68.2	66.2	45.0	48.5	28.9	29.0	15.5	11.2

(3)薬の使用時における相談相手(複数回答可)

(%)	両親・祖父母	医師・歯科医師	②	①	薬剤師	兄弟・姉妹	学校の先生	友達	その他
全体	79.8	23.4	19.0	13.4	8.2	2.7	2.2	1.5	1.2
小学校	88.6	22.7	7.5	10.8	11.6	4.9	3.1	1.5	1.3
男	84.6	21.6	8.3	12.6	10.9	6.0	2.6	1.7	1.5
女	92.2	23.7	6.7	9.2	12.2	4.0	3.6	1.3	1.1
中学校	83.1	24.8	15.4	13.6	9.3	3.3	3.1	1.7	1.4
男	82.0	25.3	15.7	13.7	10.4	3.5	3.3	2.1	1.2
女	83.9	24.4	15.2	13.4	8.3	3.1	2.9	1.5	1.5
高校	74.5	22.8	25.4	14.2	6.3	1.6	1.3	1.4	1.1
男	68.4	23.8	25.6	15.2	6.5	1.3	1.2	1.2	1.6
女	79.4	22.0	25.1	13.3	6.2	1.8	1.3	1.5	0.7

①普段から使わなければならない薬があるわけではないが、自分の判断で使う
②普段から使わなければならない薬があるので、自分の判断で使う

(4)薬をもらう相手(複数回答可)

(%)	両親・祖父母	医師・歯科医師	薬剤師	自分で持っている	兄弟・姉妹	友達	学校の先生	その他
全体	63.4	43.0	26.7	21.9	1.2	1.0	0.8	2.9
小学校	69.4	42.9	35.4	14.3	1.4	0.2	1.2	4.4
男	65.8	39.3	37.4	14.1	1.3	0.4	1.3	3.8
女	72.7	46.1	33.7	14.5	1.5	0.0	1.1	5.0
中学校	63.0	45.6	29.2	18.7	1.7	1.0	0.9	2.8
男	60.5	43.0	34.4	17.3	1.6	1.1	1.1	2.1
女	65.0	47.8	24.9	20.0	1.9	1.0	0.8	3.5
高校	61.6	41.3	21.9	26.7	0.8	1.3	0.6	2.5
男	55.2	40.6	25.2	21.8	0.3	0.4	0.2	3.4
女	66.6	42.0	19.3	30.6	1.1	2.1	1.0	1.7

(5)薬の使用時における注意点(複数回答可)

(%)	いくつ飲むか確認する	いつ飲むか確認する	水で飲むようにする	薬の注意書きを見る	食事をしたか確認する	体質を確認する	自分ではあまり気をつけない	その他
全体	80.3	69.8	61.5	45.4	29.3	8.4	4.9	1.2
小学校	83.2	72.0	67.9	53.0	33.0	14.1	4.4	1.5
男	78.0	67.9	68.4	50.0	32.9	13.9	5.8	1.3
女	88.0	75.7	67.5	55.6	33.1	14.3	3.3	1.7
中学校	80.9	70.8	62.6	46.5	29.8	10.1	5.6	1.6
男	78.6	68.0	63.9	48.1	31.8	10.0	5.3	1.3
女	82.7	73.0	61.6	45.2	28.2	10.1	5.9	1.9
高校	78.8	68.4	58.5	42.0	27.6	5.3	4.6	0.9
男	75.5	66.1	57.2	44.9	28.1	5.6	5.0	1.2
女	81.5	70.1	59.6	39.7	27.1	5.1	4.3	0.6

(6)薬に関する用語の認識度

(%)	一般用医薬品	医療用医薬品	ジェネリック医薬品	かかりつけ薬局	おくすり手帳	ドーピング	学校薬剤師
全体	55.8	60.5	45.4	51.7	44.1	62.3	26.7
小学校	52.2	55.0	34.0	45.1	52.2	45.1	26.4
男	54.8	52.1	31.0	38.0	44.6	59.4	24.5
女	50.1	57.3	36.4	50.8	58.4	33.5	28.0
中学校	58.2	64.2	52.9	56.0	38.8	73.5	26.9
男	58.7	61.5	51.8	49.9	31.5	86.3	25.6
女	57.8	66.4	53.8	60.9	44.6	63.2	28.0

※「知っている」と回答した割合

(7)薬に関する知識

(%)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
全体	83.9	80.1	47.1	47.5	57.2	79.2	74.0	34.2
小学校	82.6	78.3	53.3	52.6	51.0			
男	79.9	77.1	49.4	49.6	52.4			
女	85.1	79.3	56.8	55.3	49.7			
中学校	78.8	73.6	41.4	46.2	50.5	77.1	69.7	29.7
男	76.1	72.7	42.4	48.1	50.4	73.1	67.6	33.9
女	81.0	74.4	40.5	44.7	50.6	80.3	71.4	26.3
高校	87.7	85.1	48.7	46.6	63.8	80.6	76.9	37.2
男	85.2	85.2	49.8	47.3	67.9	78.2	75.3	40.6
女	89.7	85.0	47.8	46.1	60.5	82.5	78.1	34.4

※「知っている」と回答した割合

- ①薬を牛乳やジュースで飲むではない場面がある
- ②錠剤を細かくしたカプセル剤の中で発出して飲むだりするのは、良くない場合がある
- ③薬の飲み方の「食間とは、食後2時間ほど経ってから飲むことで、食事中に飲むことではないこと
- ④かぜ病院行き、5日 処方薬をもらって3日で熱も下がって学校へ行けるようになった2週間をすべて飲まなくてはならない場合があること
- ⑤ほとんどの薬は、何らかの副作用があるとされていること
- ⑥正しい量の薬を飲んで、すぐに効かない場合でもそれ以上の量の薬を余分に飲んではいけないうこと
- ⑦定期的に飲む薬を一度飲忘れただけに飲む時、2回発まで飲むではないこと
- ⑧市販の薬には症状をやわらげる成分は入っているが、病原体を殺す成分は入っていないこと

4. 指導者における学校種別集計結果

(1)所属および担当

(人)	保健体育教員	養護教諭	その他の担当	計
小学校	1	20	44	65
中学校	12	11	29	52
高校	16	9	4	29

(2)「医薬品についての授業」

(校)	①有無			②該当科目					③授業時間				
	行っている	行っていない	計	保健体育	理科	ホームルーム	学校行事	その他	授業で計30分以下	授業で計1時間以下	授業で計1時間以上	講演会	その他の機会
小学校	6	19	25	2	0	5	0	1	1	2	1	2	1
中学校	5	8	13	3	1	0	1	1	1	3	1	2	1
高校	7	3	10	7	0	0	0	0	0	3	4	0	0

④対象学年

- 小学校 1年(1校)、2年(1校)、4年(1校)、6年(5校)
- 中学校 2年(2校)、3年(4校)
- 高校 1年(7校)

⑤使用教材

(校)	教科書	日本学校保健会作成・配布の冊子	その他のパンフレット冊子類	ビデオ	インターネットからのダウンロード資料	その他
小学校	1	1	2	0	1	4
中学校	1	1	3	2	0	1
高校	8	0	1	2	0	5

⑥今後の予定((2)①で「行っていない」と答えた学校)

(校)	実施予定	検討中	未定
小学校	2	15	2
中学校	2	5	1
高校	0	2	1

(3)医薬品に関する内容よりも、喫煙・飲酒・薬物乱用についての教育を優先させるべきである。

(4)医薬品についての授業は、教員が行うよりも、外部から講師を招いて講演会を開いた方が有効である。

(5)学校教員を対象とした「医薬品の指導方法」に関する研修会があれば、積極的に参加したい。

(人)	はい(%)	いいえ(%)
小学校	52(80.0)	11(16.9)
中学校	37(71.2)	12(23.1)
高校	9(31.0)	18(62.1)

(人)	はい(%)	いいえ(%)
小学校	58(89.2)	7(10.8)
中学校	47(90.4)	3(5.8)
高校	15(51.7)	13(44.8)

(人)	はい(%)	いいえ(%)
小学校	49(75.4)	15(23.1)
中学校	24(46.2)	26(50.0)
高校	21(72.4)	7(24.1)